

事業名：学校図書館事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
 市内公立小中学校の児童生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
 学校図書館の図書の新規購入・更新

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	図書購入冊数	冊	9,073	7,841	7,713	7,415
活動指標 2	環境改善にかかる費用	千円	1,204	1,103	1,951	2,395

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
 学校図書館の蔵書の充実を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	蔵書率	%	95.7	97.1	98	98.6
成果指標 2	学校図書館図書標準蔵書冊数達成校割合	%	52	48	64	72

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	16,361	14,714	14,758	14,758
正職員人件費 (B)		千円	3,075	3,052	3,041	6,216
総事業費 (A+B)		千円	19,436	17,766	17,799	20,974

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）			
4年度	図書及び書架の購入	・ 図書購入費	小学校	8,526千円	
			中学校	3,837千円	
		・ 書架購入費	小学校	810千円	
			中学校	453千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：教育研究会事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略						
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市教育研究会

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	教育研究会所属教員数	人	595	594	604	623
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市教育研究会が行う事業の経費の一部を補助する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	5,200	4,008	5,200	5,200
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

教職員の資質を向上させるための研修会等を開催する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	研修会等開催日数	日	134	87	34	131
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	5,200	4,008	5,200	5,200
正職員人件費 (B)		千円	769	763	760	777
総事業費 (A+B)		千円	5,969	4,771	5,960	5,977

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	江別市教育研究会に対し所要の経費を補助する。	江別市教育研究会補助金 5,200千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：校外学習推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・スキー授業を受ける小中学校児童生徒
- ・ファースト・コンサート事業に参加する小学校児童数

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	スキー授業を受ける小中学校児童生徒数	人	5,932	5,733	5,345	5,218
対象指標 2	ファースト・コンサート事業に参加する小学校児童数	人	996	0	871	985

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・学校単位で行うスキー授業のうち、1回分のバス賃借料を負担する。
- ・ファースト・コンサートに参加するために、学校が借り上げるバス賃借料を負担する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	借上したスキーバスの台数	台	155	153	162	165
活動指標 2	借上したファースト・コンサート事業のバス台数	台	26	0	10	30

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・スキー授業実施に係る保護者の負担軽減により、スキー授業の円滑な実施を図る。
- ・ファースト・コンサート参加に係る保護者負担を軽減し、参加を促進することにより、教育活動の充実を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	スキー授業に参加した児童生徒の延人数	人	5,932	5,733	5,147	5,218
成果指標 2	ファースト・コンサート事業に参加した児童の延人数	人	938	0	268	985

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	14,116	11,524	16,066	16,066
正職員人件費 (B)		千円	2,306	1,526	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	16,422	13,050	17,586	17,620

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	・小中学校がスキー授業等の実施にあたり、1回分のバス賃借料を負担する。 ・小学校がKitaraファースト・コンサート事業に参加するにあたり、バス賃借料を負担する。	スキー授業等 ・小学校9,911千円 ・中学校3,737千円 Kitaraファースト・コンサート事業 ・小学校1,747千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別市教育研究所事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市教育研究所

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	研究所数	箇所	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

教育に関する調査、研究、資料の収集整理などを行う。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	研修会等開催回数	回	1	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市の教育研究の進展と充実を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	研修会等参加者数	人	470	38	158	300
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	2,287	2,490	2,828	2,811
正職員人件費 (B)		千円	1,537	1,526	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	3,824	4,016	4,348	4,365

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 教育に関する調査、資料の収集及び教育行政の情報提供 教育相談、研修及び関係各機関との交流 教育研究所所報等の出版 	教育研究所運営経費 2,396千円 教職員セミナー等研修会開催経費 182千円 家庭向けリーフレット作成経費 61千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：特別支援学級生活介助事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
 市内公立小中学校の特別支援学級の児童・生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校の特別支援学級の児童・生徒数	人	240	267	270	327
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
 ・特別支援学級を設置している小中学校に特別支援教育支援員を配置する。
 ・特別支援学級の運営に必要な環境整備を行う。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	特別支援教育支援員（特別支援学級）数	人	35	33	35	38
活動指標 2	特別支援学級教員数	人	105	111	118	117

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
 障がいの状態に応じた支援により、児童生徒の生活や学習上の困難が改善・克服される。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	教職員（特別支援学級教員及び介助員）1人当りの特別支援学級在籍児童生徒数	人	1.71	1.85	1.76	2.11
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	50,136	51,576	55,532	54,975
正職員人件費 (B)		千円	4,228	3,815	3,801	3,884
総事業費 (A+B)		千円	54,364	55,391	59,333	58,859

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員（特別支援学級）の配置 特別支援学級の運営等 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員（特別支援学級）報酬等： 51,790千円 特別支援学級の運営経費（消耗品等）： 2,281千円 特別支援教育に必要な器具等の購入費： 180千円 	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：学校給食事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

給食センターで作った給食を専用搬送車両で市内全公立小中学校へ配送し、各学校に配置している配膳員が各クラスに配膳する。
給食に地場産野菜を提供してくれる農家団体やJA道央と調整し、出来るだけ多くの地場産野菜を導入する。
「江別市学校給食会運営費補助要綱」に基づき、江別市学校給食会へ補助金を支出する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	年間給食センター稼働日数	日	183	181	201	202
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

正しい食事のあり方や、望ましい食生活を身につけ、食事を通じて育成時に必要な食事を摂取（栄養バランス、量）し、健康が維持される。また、食事、給食活動を通じて、豊かな心が育成される。
児童生徒に新鮮で安全安心な地場産野菜をたくさん使って、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより健康の増進と体位の向上に貢献する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	地場産野菜の使用率	%	41.5	52.2	50	50
成果指標 2						

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	246,174	270,479	268,868	282,560
正職員人件費 (B)	千円	122,992	119,012	117,831	120,404
総事業費 (A+B)	千円	369,166	389,491	386,699	402,964

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 調理場運営、維持管理費用 配膳員をはじめとする給食関係職員の人件費 給食配送や弁当箱洗浄など給食関係業務委託費 江別市学校給食会運営費への補助金 	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食調理補助員等報酬及び期末手当 86,109千円 重油代 26,742千円 電気料 16,458千円 水道料 13,175千円 学校給食配送業務委託料 50,042千円 江別市学校給食会運営費補助金 16,718千円 小中一貫教育における給食提供経費 3,955千円 	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：遠距離通学送迎事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

遠距離通学が必要な児童生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	遠距離通学が必要な児童生徒数	人	112	102	102	108
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

登下校の予定時間に合わせ、委託先の会社がスクールバス及びスクールタクシーを運行し、児童生徒を送迎する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	延べ運行時間数	時間	3,692	3,698	4,400	4,300
活動指標 2	利用児童生徒数	人	112	102	102	108

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

居住する遠隔地から学校までの間を、安全に通学させる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	事故等により、スクールバスを運行できなかった便数	便	0	0	0	0
成果指標 2	事故等により、スクールタクシーを運行できなかった便数	便	0	0	0	0

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	47,983	54,362	57,600	57,900
正職員人件費 (B)		千円	3,844	3,815	3,801	3,884
総事業費 (A+B)		千円	51,827	58,177	61,401	61,784

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	スクールバス及びスクールタクシーの運行	・小学校	14,700千円
		・中学校	43,200千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 中文連・中体連各種大会参加補助事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市中学校文化連盟（中文連）
江別市中学校体育連盟（中体連）

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	連盟の会員数	人	3,506	3,457	3,504	3,442
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市中学校文化連盟及び江別市中学校体育連盟に対して、大会に参加するための経費の一部を補助する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	14,339	1,961	8,500	12,668
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

中学生の文化活動や、体育活動の振興を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	大会参加者数	人	2,684	2,652	2,570	2,570
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	14,339	1,960	12,814	12,668
正職員人件費 (B)		千円	1,537	1,907	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	15,876	3,867	14,334	14,222

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	中文連、中体連各種大会・発表会に参加する経費の一部を補助する。 補助対象となる大会や発表会 ・中文連吹奏楽コンクール、演劇発表会等 ・中体連の市内・管内・全道・全国大会	・中文連参加補助金	2,763千円 ・中体連参加補助金 9,905千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：奨学資金貸付金

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和41年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住の高校生

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 市内在住の高校生数	人	3,649	3,539	3,931	3,857
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

高等学校への修学意欲があるにもかかわらず経済的な理由により、修学困難な高校生に修学に必要な資金の一部を貸与する。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 奨学資金申請者数	人	7	3	3	12
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

修学困難な高校生に教育を受ける機会を与える。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 奨学資金貸与認定者数	人	7	3	3	12
成果指標 2 奨学資金貸与者の就学率	%	100	100	100	100

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	1,311	651	2,269	2,269
正職員人件費 (B)	千円	3,075	3,052	3,041	3,107
総事業費 (A+B)	千円	4,386	3,703	5,310	5,376

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	奨学金の貸与	貸付金 2,112千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：教育扶助

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校児童生徒の保護者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内小中学校児童生徒保護者数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を支給する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	就学援助認定者数	人	1,564	1,471	1,373	1,388
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

児童生徒が等しく義務教育を受けられるようにする。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	就学援助認定率	%	18.2	17	17	16
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	155,503	151,895	180,900	172,100
正職員人件費 (B)		千円	7,687	7,248	7,602	7,768
総事業費 (A+B)		千円	163,190	159,143	188,502	179,868

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費、医療費等を支給する。	就学援助に必要な経費	172,100千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市内私立高校助成金

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に私立高校を設置する学校法人

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内の私立高校数	校	2	2	2	2
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市私立学校補助金交付要綱」に基づき、私立高校の特色のある教育を支援又は教材教具の充実を図るために必要な補助をする。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	6,000	6,000	6,000	6,000
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各校の建学精神に基づき個性豊かな教育活動を積極的に展開し、特色ある教育が一層促進できるようになる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	市内の中学校卒業生のうち、市内の私立高校に入学する生徒の割合	%	7	10	8	8
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	6,000	6,000	6,000	6,000
正職員人件費 (B)		千円	1,153	1,144	1,140	1,165
総事業費 (A+B)		千円	7,153	7,144	7,140	7,165

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	市内私立高校に対し助成金を支出	<ul style="list-style-type: none"> 特色のある教育を実施するための事業への補助金 教材教具の整備事業への補助金 その他教育委員会が必要と認める事業の補助金 6,000千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：地域体験活動事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
 ・市内小中学生

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
 地域資源を活用した体験活動を子どもたちに提供する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	実施事業数	事業	3	2	1	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
 体験活動を通して子どもの可能性を引き出すとともに、学力だけでは計ることのできない感性・意欲・忍耐力などの育成を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	67	36	17	54
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	206	21	117	79
正職員人件費 (B)		千円	3,075	2,289	2,281	1,165
総事業費 (A+B)		千円	3,281	2,310	2,398	1,244

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	【自然体験】ツリーイング体験会の実施 【生活体験】はじめてのお泊まり会（コロナ禍のため休止）	ツリーイング体験会の実施	79千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	例年、本事業は、「はじめてのお泊まり会」、「ツリーイング」の2事業を実施するものであるが、コロナ禍においては、「はじめてのお泊まり会」の実施が困難であることから一時事業を休止し、定員を大きく超えて応募のある「ツリーイング」の開催回数を増回する見直しを行った。

事業名：子ども会育成事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和36年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市子ども会育成連絡協議会（江別、野幌、大麻・文京台地区育成会）

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	補助金交付団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2	市内の各地区子ども会育成会の数	団体	3	3	3	3

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市子ども会育成連絡協議会が取り組む、幅広い年齢層の子どもたちへの豊かな体験活動と各地区育成会の行う活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	737	540	737	737
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市子ども会育成連絡協議会及び各地区育成会において、各種体験型事業が開催され、参加する児童・生徒数が増えることで、会の活動の活発化と子どもたちへの体験の機会が図られる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	子ども会活動への地域住民の参加延べ数	人	298	22	36	36
成果指標 2	子ども会活動の取り組み数	件	37	4	5	5

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	737	540	737	737
正職員人件費 (B)		千円	2,690	1,907	1,901	1,554
総事業費 (A+B)		千円	3,427	2,447	2,638	2,291

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 小学生相撲大会、青少年キャンプ村、ドッジビー体験会、小中学生かるた大会の開催 こいのぼりフェスティバル、スノーフェスティバル等への協力 各地区育成会との連携、協力 ジュニアリーダー養成の支援 会議等の開催 活動団体に対し補助金を支出 ※コロナ禍において事業の一部中止があった場合は、代替事業を行う可能性あり。	・子ども会への補助金 737千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：はたちのつどい開催事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和33年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・はたちのつどい実行委員会
・新成人

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 実行委員数	人	5	5	8	5
対象指標 2 20歳の年齢到達者数（令和3年度までは「新成人数」）	人	1,452	1,447	1,385	1,348

手段（事務事業の内容、やり方）

・その年度に20歳（はたち）となる青年の有志から構成される実行委員会が、自ら企画や準備を行い、「はたちのつどい」を開催する。
・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市はたちのつどい実行委員会に対して、アトラクション出演謝礼、交歓会景品代など、はたちのつどい開催に要する経費について補助金を交付する。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 補助金額	千円	190	86	180	180
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・20歳（はたち）の年齢到達に伴い、成年としてのほぼすべての権利を行使できるようになる人生の節目を祝福・激励することで、参加した20歳年齢到達者に対して、自らが自立した社会人であることへの責任と自覚を促し、より良い社会の創造への貢献の決意に加え、市民としての連帯感を高める。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 はたちのつどい出席者数（令和3年度までは「成人のつどい参加者数」）	人	861	0	2,825	674
成果指標 2 出席率	%	59.3	0	48.7	50

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	513	426	914	662
正職員人件費 (B)	千円	2,306	2,289	2,281	1,942
総事業費 (A+B)	千円	2,819	2,715	3,195	2,604

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度 ・実行委員会の組織化及び開催等の運営 ・案内状の発送 ・しおりの作成 ・はたちのつどいの開催及び運営	・実行委員会への補助 180千円 ・案内状の郵送料 106千円 ・しおりの印刷費用 36千円 ・はたちのつどい会場使用料等 340千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	令和4（2022）年4月に民法を一部改正する法律が施行され、成年年齢が20歳から18歳に引き下がる。 本事業は、事業名を「成人式開催事業」から「はたちのつどい開催事業」に変更し、また、事業の対象者については、関係団体等の意見を基に、新たな成年年齢（18歳）ではなく、従来どおり20歳を対象として事業を継続することとした。

事業名：科学体験教室開催事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校3年生から中学校3年生までの児童・生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内の小学3年生から中学3年生までの児童生徒数	人	0	0	0	6,793
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・小中学校への周知や市広報などを通して参加者を募集する。
- ・科学講師を招き、参加者に科学の不思議さや楽しさを伝えながら、考える力を養うきっかけを提供できる体験教室を開講する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	年間開催回数	回	0	0	0	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・科学の不思議さや楽しさを体験することで科学に興味・関心を抱くようになる。
- ・子どもたちの知的好奇心が刺激されることで、疑問に思うことへの探求心が育まれる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	年間延べ参加者数	人	0	0	0	75
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	581	561	561	147
正職員人件費 (B)		千円	1,537	763	760	1,165
総事業費 (A+B)		千円	2,118	1,324	1,321	1,312

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	科学体験教室の開催	科学体験教室の開催 147千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	本事業は、従来から実施していた「発明教室開催事業」の後継事業である。「発明教室開催事業」は、青少年の科学技術離れが叫ばれるようになったことから、科学技術に対して興味関心を促すことを目的に開始された事業であるが、近年は、指導員の中に、発明に係る有識者がいなかったため、「発明」ではなく「木工」を主な活動とするクラブとなっていた。当初、掲げていた事業開始の目的である「青少年の科学技術離れ」に対する事業として内容の見直しを図った。

事業名：青少年のための市民会議補助金

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略							
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策							
開始年度	昭和55年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助		

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市青少年のための市民会議

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	補助交付団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市青少年のための市民会議が取り組む、青少年の健全育成等の啓発活動や青少年の非行防止活動及び有害環境の点検活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、活動費の一部を補助する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	120	120	120	120
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市青少年のための市民会議が行う活動が充実し、青少年を取り巻く環境が向上していく。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	主催事業協力者数	人	52	39	21	30
成果指標 2	健全育成標語応募件数	件	464	2,414	1,246	1,375

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	120	120	120	120
正職員人件費 (B)		千円	2,306	1,907	1,901	1,942
総事業費 (A+B)		千円	2,426	2,027	2,021	2,062

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成啓発などの標語募集 ・少年の主張石狩地区大会江別代表者の選考 ・青少年善行賞、善行賞特別賞の選定及び表彰 ・街頭啓発活動の実施 ・会議等の開催 ※上記内容を団体が見直し中。令和4年度総会にて詳細を決定。	市民会議への補助 120千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：青少年キャンプ村事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	昭和43年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小学校4年生から中学校3年生の児童生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内の小学校4年生から中学校3年生の児童生徒数	人	5,869	0	5,865	5,811
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

自然体験事業として日常の生活から離れ、自然豊かな環境の中で青少年キャンプ村を1泊2日の日程で開催する。大学生、高校生で構成されるボランティアサークルの指導によりキャンプを行う。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	キャンプ村開催日数	日	5	0	5	5
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

野外生活の楽しさを感じるとともに、異年齢との交流及び集団生活を通して、規律ある生活態度・生活技術を学び、子どもたちの協調性や社会性を高める。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	参加グループ数	グループ	72	0	39	39
成果指標 2	青少年キャンプ村参加人数	人	334	0	112	112

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	643	0	724	747
正職員人件費 (B)		千円	3,459	2,289	2,281	1,942
総事業費 (A+B)		千円	4,102	2,289	3,005	2,689

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	7月下旬または8月上旬に江別市森林キャンプ場において、高校生と大学生からなるボランティアサークルの指導の下でキャンプを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導員謝礼 336千円 生活指導員ほか食材 70千円 仮設トイレ設置等の委託料 331千円 	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	感染症の拡大を受け、予算の費目上、以下の点の見直しを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・集合場所⇄会場までの送迎バスを廃止、現地集合・解散へ（バス内の3密の回避） ・会場（森林キャンプ場）内を一般キャンパー区域と事業実施区域にゾーニング ・会場のゾーニングに伴う参加者専用の仮設トイレの設置 ・その他、開催方法や運営方法についても感染症対策の徹底を図る

事業名：青少年文化賞顕彰事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
小学生以上24歳以下の市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小学生以上24歳以下の市民	人	19,969	19,742	19,742	19,584
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
各種コンクール等において優秀な成績を収めるなど、市内における芸術及び文化の振興に貢献した青少年に対し、「江別市青少年文化賞規則」等に基づき各賞を贈る。贈呈式は青少年スポーツ賞と共同開催している。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	審査会開催回数	回	3	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
芸術及び文化に対する意識を高め、創造性豊かな青少年の育成を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	受賞者数	人	21	10	22	20
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	356	184	360	360
正職員人件費 (B)		千円	769	763	760	777
総事業費 (A+B)		千円	1,125	947	1,120	1,137

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	・全国・全道規模の各種コンクールで優秀な成績を収めた青少年を表彰する。	楯代 360千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：問題行動対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・専任指導員、少年育成委員を配置し巡回街頭指導等を行う。
 ・小・中・高の生徒指導担当教員や市の子育て支援課、警察などで構成する江別市指導連絡会等を開催し、関係機関の連携を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	巡回街頭指導実施回数	回	256	200	140	260
活動指標 2	関係機関連携会議開催回数	回	17	14	11	17

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒による問題行動が発生しなくなる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	補導された小中学校児童生徒数	人	75	44	40	40
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	4,511	4,978	5,509	5,513
正職員人件費 (B)		千円	7,303	6,485	6,462	6,603
総事業費 (A+B)		千円	11,814	11,463	11,971	12,116

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 巡回街頭指導の実施 祭典巡回指導の実施 江別市指導連絡会等の開催 	・専任指導員報酬等 4,791千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：いじめ・不登校対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2	不登校児童生徒数	人	174	208	250	250

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・いじめ・不登校の専用相談窓口を設置し、専任指導員等が相談対応する。
- ・青年センターにおいて、スクールカウンセラーによる教育相談を実施する。
- ・不登校児童生徒を対象に、適応指導教室「すぽっとケア」を運営する。
- ・いじめ問題等について、児童生徒が市教委に直接伝える「心のダイレクトメール」を実施する。
- ・いじめ問題をテーマの一つとして中学生サミットを開催する。
- ・情報モラル講演会を開催するほか、普及啓発資料を配付する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	いじめ・不登校相談件数	件	86	80	80	80
活動指標 2	すぽっとケア・ケア事業開催回数	回	121	120	152	168

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・いじめが解消される。
- ・不登校の児童生徒が再登校できるようになる。
- 又は、登校には至らないものの、学校外の機関等での相談・支援等を受けるなど状況が変化する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	いじめの解消率	%	99	99	99	99
成果指標 2	再登校率	%	16	8	8	8

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	5,378	5,671	6,468	8,863
正職員人件費 (B)		千円	8,840	8,773	8,742	8,545
総事業費 (A+B)		千円	14,218	14,444	15,210	17,408

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校の専用相談の実施 ・スクールカウンセラーによる教育相談の実施 ・不登校児童生徒を対象にすぽっとケア（学習支援）とケア事業（体験活動）の実施 ・心のダイレクトメール事業の実施 ・中学生サミットの開催 ・情報モラル普及啓発の実施 	専任指導員等報酬：7,186千円 心のダイレクトメール事業経費：29千円 中学生サミット開催経費：80千円 情報モラル普及啓発経費：292千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：「心の教室」相談事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童及び保護者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小学校児童数	人	5,635	5,751	5,759	5,826
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・相談員を学校に配置し、学校生活や日常の様々な悩みや困りごとの相談に応じる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	相談員配置学校数	校	17	17	17	17
活動指標 2	延べ相談時間	時間	4,967	5,386	5,400	5,400

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童及び保護者の悩みが軽減、解消される。
 ・児童が安心して学校生活を過ごせる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	延べ相談件数	件	17,075	14,689	14,700	14,700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	5,146	5,402	5,524	5,524
正職員人件費 (B)		千円	1,537	1,526	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	6,683	6,928	7,044	7,078

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	・小学校17校に心の教室相談員を配置し、児童及び保護者の悩みや相談に対応	心の教室相談員報酬：5,422千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：地域一体型学校の顔づくり事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
 市内市立小・中学校

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内市立小・中学校数	校	25	25	25	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
 「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めるため、事業を行う小中学校に対し、事業費の一部を支援する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	事業実践項目数	項目	38	38	38	38
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
 家庭・地域が一体となって事業を展開し「特色のある学校」、「開かれた学校」づくりを進めることにより、教育の充実を図ることができるようになる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	地域住民等の事業への参加人数	人	8,878	2,179	6,100	6,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	3,105	2,602	2,966	2,966
正職員人件費 (B)		千円	1,153	1,907	1,901	1,942
総事業費 (A+B)		千円	4,258	4,509	4,867	4,908

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	各学校の事業に要する経費の一部を学校配分予算として支出	・ 講師の謝礼等	522千円
		・ 消耗品購入費	1,628千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スクールカウンセラー事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・小中学校にカウンセラー（臨床心理士等）を配置し、対象校の児童生徒をカウンセリングの対象として相談業務にあたる（報酬は北海道負担）。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	配置学校数	校	9	10	11	25
活動指標 2	延べ相談時間	時間	778	785	809	809

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	延べ相談件数	件	1,236	1,160	1,200	1,200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	45	25	27	32
正職員人件費 (B)		千円	1,537	1,526	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	1,582	1,551	1,547	1,586

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	市内小中学校にスクールカウンセラーを配置し、相談業務にあたる。	配置校消耗品費：32千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：社会人による教育活動等支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校の児童生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

教育活動の講師として、文化・芸術など多岐にわたる分野から、幅広い専門的知識等を有する社会人を活用するための費用を負担する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	社会人を活用した授業を申請した学校数	校	12	12	25	25
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

社会人を活用した教育活動を実施する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	社会人を活用した授業を実施した学校数	校	8	6	25	25
成果指標 2	社会人を活用した授業を実施した回数	回	9	7	20	25

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	405	138	560	560
正職員人件費 (B)		千円	769	763	760	777
総事業費 (A+B)		千円	1,174	901	1,320	1,337

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	文化・芸術・体育・仕事など多岐にわたる分野から、幅広い専門的知識等を有する社会人を教育活動の講師として活用するための支援を行う。	報償費	560千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：特別支援教育推進事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒数	人	654	676	676	610
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・特別支援教育支援員（通常学級）を配置する。
- ・専門家チームが巡回相談等により学校・保護者へ助言する。
- ・教員等の能力向上のための研修会を開催する。
- ・支援に必要な環境整備を行う。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	巡回相談等実施回数	回	197	102	60	113
活動指標 2	特別支援教育支援員（通常学級）の配置数	人	35	36	37	38

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

個別の教育的ニーズに応じた支援により、児童生徒の生活や学習上の困難が改善・克服される。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	通常学級で個別の教育支援計画を作成している学校の割合	%	100	100	100	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	36,605	39,118	38,487	39,029
正職員人件費 (B)		千円	8,456	8,010	7,982	8,156
総事業費 (A+B)		千円	45,061	47,128	46,469	47,185

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員（通常学級）の配置 ・特別支援教育専門家チームの経費 ・特別支援教育に係る施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員（通常学級）報酬等：36,419千円 ・巡回相談に係る専門家チーム委員の謝礼等：471千円 ・施設整備費：1,186千円 	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：キャリア教育推進事業（中学生職場体験）

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立中学校の生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内公立中学校の生徒数	人	2,947	2,903	2,965	2,862
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

中学2年生が、市内の事業所で原則2日間の職場体験を行う。
 ※令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	職場体験受け入れ事業所数	所	123	0	0	120
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

望ましい勤労観や職業感、自己の進路を選択する能力のほか、人間関係形成能力、コミュニケーション能力を育成する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	キャリア教育参加生徒数	人	749	0	0	784
成果指標 2	自分の進路や将来の生き方を考えるきっかけとなった生徒の割合	%	77	0	0	78

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	611	412	626	626
正職員人件費 (B)		千円	3,075	3,052	3,041	3,107
総事業費 (A+B)		千円	3,686	3,464	3,667	3,733

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	公立中学校の生徒が事業所において連続する2日間の職場体験を行う。	・ マナー研修等経費	154千円
		・ 職場体験実施に係る経費	472千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：学校給食食器更新事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
 市内の小中学校児童生徒等

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
 江別市学校給食用食器検討委員会において、安心して提供できる学校給食用食器の選定について検討する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	食器更新・追加数	個	3,765	2,805	4,100	5,090
活動指標 2	検討委員会開催数	回	0	0	0	5

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
 安全、安心な食器で喫食することにより、楽しく食事し、豊かな心が育つ。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	食器破損率	%	5.63	4.37	6	6
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	384	381	380	388
総事業費 (A+B)		千円	384	381	380	388

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	安全、安心な食器を提供するため、破損した食器の補充管理、食器についての情報収集を行う。	人件費事業

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小中学校学習サポート事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実				
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
市内公立小中学校の児童生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
放課後の学習支援や、複数の教員が役割を分担し協力し合いながら指導する「チーム・ティーチング」などの学校支援を行う学習サポート教員（教員資格者）や、書写やミシンなど、教科指導以外での学校支援を行う学校支援地域ボランティアを募集し、市内小中学校（全25校）に派遣する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	学習サポート教員の登録人数	人	34	34	34	34
活動指標 2	学校支援地域ボランティアの登録人数	人	82	70	24	24

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
学校における、多様な学習機会を提供する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	学習サポート教員の年間派遣回数	回	3,252	3,367	3,470	3,470
成果指標 2	学校支援地域ボランティアの年間派遣回数	回	479	422	323	408

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	8,494	9,005	9,364	9,364
正職員人件費 (B)		千円	3,844	3,052	3,041	3,107
総事業費 (A+B)		千円	12,338	12,057	12,405	12,471

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	・市内小中学校の全校に学習サポート教員及び学校支援地域ボランティアを派遣する。	・学習サポート教員派遣経費	6,967千円
		・コーディネーター報酬等	2,397千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子どものための読書環境整備事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の子どもとボランティア

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内小中学校数	校	25	25	25	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・司書教諭等と連携して多様な読書活動を企画・実施し、学校図書館サービスの改善・充実を図るため、市内小・中学校を巡回する司書と支援司書を配置する。
 ・児童生徒の自ら学ぼうとする意欲を喚起し、学力の向上を後押しするため、児童生徒の朝読書や調べ学習、総合的な学習の時間などの学校が行う教育活動を支援する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	司書巡回学校数	校	7	7	9	10
活動指標 2	司書短期間支援学校数	校	17	17	14	14

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒が発達の段階に応じて読書の楽しさを知り、読書の幅が広がり、読書体験が深まるようになる。
 ・児童生徒が読書活動を通じて生涯にわたり絶えず自発的に学ぼうとする意欲や習慣が身に付くようになる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	司書巡回によって増加した貸出冊数	冊	1,340	737	740	740
成果指標 2	司書巡回期間のボランティア活動回数	回	7	2	7	9

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	5,952	8,244	8,749	8,749
正職員人件費 (B)		千円	4,612	4,577	4,561	4,661
総事業費 (A+B)		千円	10,564	12,821	13,310	13,410

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・司書による学校図書館の環境整備への支援 ・司書による学習支援 ・司書と学校図書館ボランティアとの協働による支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬等（巡回司書3名、支援司書1名） ・資料整理等の消耗品 ・団体貸出用図書、朝読書、調べ学習用図書購入費 	<p>8,504千円 145千円 100千円</p>

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：食育推進事業

給食センター 業務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小中学校児童生徒等

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市学校給食食育運営委員会において取りまとめた「江別市の公立小中学校における食育の推進」により示した方向性に従い、学校が進める食育に関する活動及び事業に対して、必要な指導、援助を行う。
 栄養教諭が、学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	運営委員会開催数	回	0	0	0	0
活動指標 2	栄養教諭による「食に関する指導」実施学級数	学級	323	246	330	330

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

食事の重要性を理解し、食事の自己管理能力や食品を選択する能力を身に付けることによって、豊かで健全な食生活を実践することができる人間が育つ。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合	%	83.4	82.4	85	85
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	1,537	1,526	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	1,537	1,526	1,520	1,554

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	・栄養教諭が学校教育課程の中で「食に関する指導」を行う。	人件費事業

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：児童生徒体力向上事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2	モデル校の児童数	人	169	192	201	209

手段（事務事業の内容、やり方）

北翔大学の協力のもと、近隣に位置する文京台小学校をモデル校に指定し、児童生徒の体力向上に向けた取組を行う。また、モデル校以外で体力向上の取組が広がるよう、普及出前授業を実施する。

※活動指標 2については、令和3年度まで「朝運動プログラム」、令和4年度からは「江別がときめくスポーツにトライ大作戦（スポトラ）」の数値となっている。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	体力向上に取り組んだ回数	回	60	10	43	43
活動指標 2	普及出前授業に参加した児童数	人	283	261	174	339

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

体を動かすことを楽しいと感じてもらうとともに、児童生徒の体力向上を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	児童生徒で体力が向上した割合（モデル校）	%	67	0	80	80
成果指標 2	体を動かすことが楽しいと感じている児童の割合（モデル校及び普及出前授業実施校）	%	88	0	92	92

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	647	647	648	648
正職員人件費 (B)		千円	2,306	1,526	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	2,953	2,173	2,168	2,202

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 小学校1校をモデル校とし、基礎的な動きを組み入れた運動を継続的に行える体力向上のための取組を行い、その効果と検証を行う。 江別市体力向上「スポトラ」事業普及のための出前講座を市内小学校5校（予定）にて行う。 運動遊びをベースとした体験や単元に合わせた準備運動等を行う。 	北翔大学への委託料 648千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：特別支援教育就学奨励費

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校特別支援学級及び通級指導教室に通学する児童生徒の保護者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校特別支援学級及び市内小学校通級指導教室に通学する児童生徒の保護者	人	374	408	411	470
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学用品費、給食費、修学旅行費、通学費等を支給する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	特別支援教育就学奨励費認定者数	人	220	221	238	347
活動指標 2	通学費認定者数	人	148	150	164	176

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

特別な支援を必要とする児童生徒の保護者の経済的負担が軽減される。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	特別支援教育就学奨励費認定率	%	58.8	54.2	58	74
成果指標 2	通学費認定率	%	39.6	36.8	40	38

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	5,927	7,567	8,903	12,431
正職員人件費 (B)		千円	5,381	4,578	4,561	4,660
総事業費 (A+B)		千円	11,308	12,145	13,464	17,091

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	通学費、給食費、修学旅行費、学用品費等の一部補助 ※「要保護児童生徒援助補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金要綱」に基づき、支出の2分の1を補助する。	通学費、給食費、修学旅行費、学用品費等の一部補助 小学校 7,690千円 中学校 4,741千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スクールソーシャルワーカー事業 教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・課題を抱える児童生徒や保護者に対する医療受診や福祉サービス利用等の働きかけ
 ・学校や関係機関（医療機関、児童相談所、福祉サービス事業所等）との連携や調整
 ・保護者や学校への児童生徒理解等に関する助言や相談支援

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	3	3	3	3
活動指標 2	延べ相談支援件数	件	1,340	1,099	1,100	1,100

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒、保護者の抱える課題が解決される。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	支援児童生徒数	人	147	181	190	190
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	6,750	6,722	7,529	7,546
正職員人件費 (B)		千円	1,537	3,052	3,041	3,107
総事業費 (A+B)		千円	8,287	9,774	10,570	10,653

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	福祉の専門知識を持つスクールソーシャルワーカーが、課題を抱える児童生徒や保護者に対する支援を行う。 なお、活動指標2「延べ相談支援件数」は、成果指標1「支援児童生徒数」に対して行った相談支援の延べ件数である。	スクールソーシャルワーカー報酬・手当：7,495千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 中文連・中体連負担金補助事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略							
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助		

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市中学校文化連盟（中文連）
江別市中学校体育連盟（中体連）

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	連盟の会員数	人	3,506	3,457	3,504	3,442
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、市内中文連、中体連に対し、必要経費の一部を補助する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,297	865	1,227	1,205
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各種大会を実行するための中文連・中体連の組織の健全な運営を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	中文連・中体連大会開催数	回	15	5	14	15
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	1,297	864	1,305	1,205
正職員人件費 (B)		千円	769	1,144	760	777
総事業費 (A+B)		千円	2,066	2,008	2,065	1,982

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	市内中文連、中体連が負担する石狩管内中学校文化連盟の負担金及び石狩管内中学校体育連盟の負担金を補助する。	・市内中学校文化連盟負担金	276千円
		・市内中学校体育連盟負担金	930千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小中学校外国語教育支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小・中学校の児童生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,582	8,654	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内公立小中学校に、外国語の授業を支援する外国語指導助手（10名）を派遣する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	外国語指導助手が入った授業の年間時数	時数	5,826	6,524	5,956	5,956
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

諸外国の生活や文化等について理解を深め、児童生徒のコミュニケーションに関する関心を高める。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	外国語指導助手との外国語の授業を楽しいと考える児童生徒の割合	%	83	86	84	85
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	34,521	34,381	34,953	34,953
正職員人件費 (B)		千円	6,150	6,103	6,082	6,214
総事業費 (A+B)		千円	40,671	40,484	41,035	41,167

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の授業において、複数の教員が役割を分担しながら指導する「チーム・ティーチング」などの学習支援を行う。 長期休業中（夏季及び冬季）における外国語活動の実施。 	外国語指導助手報酬 33,300千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：コミュニティ・スクール事業

総務課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
 市内市立小・中学校

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内市立小・中学校数	校	25	25	25	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
 全小中学校の学校運営委員会委員に報酬を支給するとともに、各学校運営委員会を支援する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	コミュニティ・スクール設置校	校	25	25	25	25
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
 学校・家庭・地域が、目指す子ども像を共有し、一体となって子どもを育てる持続可能な仕組みを持った学校づくりを行う。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	学校運営委員会開催回数	回	76	72	75	75
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	1,590	1,481	1,923	1,694
正職員人件費 (B)		千円	3,844	3,815	3,801	3,884
総事業費 (A+B)		千円	5,434	5,296	5,724	5,578

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	学校運営委員会を運営するための経費	・ 学校運営委員会委員報酬	1,140千円
		・ 市外研修旅費	54千円
		・ 広報活動費等諸経費	500千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：医療的ケア児支援事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育		戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実		具体的施策	(2) 教育内容の充実			
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小中学校において医療的ケアの対象となる児童生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校において医療的ケアの対象となる児童生徒	人	0	0	0	2
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・学校に看護師を配置し、医療的ケアを必要とする児童生徒への支援を行う。
- ・医療的ケア運営協議会において実施に関する協議を行い、支援に当たっては安全かつ適正に医療的ケアを実施する。
- ・医療的ケアに伴う備品購入や施設整備を行う。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	学校看護師数	人	3	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

医療的ケアの対象となる児童生徒が安心して就学できる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	学校において医療的ケアを実施した人数	人	0	0	0	2
成果指標 2	学校における医療的ケア児の受入れ可能人数	人	2	2	2	2

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	407	113	894	835
正職員人件費 (B)		千円	23,830	23,650	23,566	24,081
総事業費 (A+B)		千円	24,237	23,763	24,460	24,916

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校看護師の配置 ・医療的ケア運営協議会の運営 ・医療的ケア実施に係る施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア運営協議会委員への謝礼：209千円 ・施設整備費：495千円 	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小中学校ICT環境整備事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の教職員

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校教職員数	人	0	623	624	638
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

業務の円滑化及び情報セキュリティの確保を図るため、教職員 1 人につき 1 台、校務用コンピュータを配備するなど、市内公立小中学校における ICT 環境を整備する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	校務用コンピュータ配備台数	台	0	623	624	638
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内公立小中学校に校務支援システムを導入し、教職員における校務の効率化を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	校務支援システム導入校数	校	0	25	25	25
成果指標 2						

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	0	34,090	34,705	42,385
正職員人件費 (B)	千円	0	4,577	4,561	4,661
総事業費 (A+B)	千円	0	38,667	39,266	47,046

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度 ・業務の円滑化を図るため、教職員 1 人あたりに 1 台、校務用コンピュータを配置する。 ・校務支援システムを活用し、教職員の校務の効率化を図る。	・校務支援システム利用料等 9,991千円 ・校務用コンピュータ等償還金 14,972千円 ・ICT環境維持管理経費 17,422千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：北海道中学校体操競技・新体操大会補助金 学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
 北海道中学校体操競技・新体操大会事務局

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	事務局数		0	0	1	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
 「江別市教育振事業補助金交付規則」に基づき、北海道中学校体操競技・新体操大会事務局に対して、必要経費の一部を補助する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額		0	0	150	0
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
 中学校体育活動の振興を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	大会参加者数		0	0	149	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	150	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	760	0
総事業費 (A+B)		千円	0	0	910	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度			

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
休止	令和4年度は江別市で開催されないため。

事業名：北海道中学校水泳大会補助金

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

北海道中学校水泳大会事務局

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	事務局数		0	0	0	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、北海道中学校水泳大会事務局に対して、必要経費の一部を補助する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額		0	0	0	200
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

中学校体育活動の振興を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	大会参加者数		0	0	0	920
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	200
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	777
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	977

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	中体連の全道水泳大会が当市で開催されるにあたり、その運営に係る経費を補助する。 ・開催期間：令和4年7月29日～31日（予定） ・開催場所 道立野幌総合運動公園総合体育館プール	・北海道中学校水泳大会への補助金 200千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	令和4年度単年で開催されるため。

事業名：G I G Aスクール構想推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育		戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実		具体的施策	(2) 教育内容の充実			
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校児童生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	0	0	8,674	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

文部科学省が掲げる「G I G Aスクール構想」を推進し、学習者用端末等をはじめとした学校 I C T環境を整備する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	学習者用端末整備台数	台	0	0	7,125	9,115
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学習者用端末等をはじめとした機器を整備することで、I C Tを活用した円滑な授業実施を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	児童生徒に対する学習者用端末配備割合	%	0	0	82	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	27,117	202,068
正職員人件費 (B)		千円	0	0	7,602	10,875
総事業費 (A+B)		千円	0	0	34,719	212,943

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）			
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・2学年分の学習者用タブレット端末の整備を行う。 ・学習者用端末等を活用した授業を行うにあたり、専門知識を有する外部事業者による迅速なサポート体制を構築する。 ・円滑な授業実施のための通信料を確保する。 ・緊急時の学びを保障するため、モバイルルーターを整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者用タブレット端末等購入費 163,150千円 ・運用保守関連経費 34,138千円 ・ネットワーク回線経費 2,403千円 ・モバイルルーター購入・通信費 2,376千円 			

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別の魅力「食」と「自然」を満喫できる体験型学習事業 生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
 江別市に居住する小学4年生から中学3年生の児童・生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小学4年生から中学3年生までの児童・生徒数	人	0	0	0	5,811
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
 地域の住民団体やボランティア団体と協働して、江別市の魅力である「食」や「自然」を通じた体験型学習の機会を提供する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	体験型学習プログラム数	人	0	0	0	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
 豊かな自然環境の中での「自然体験学習」や「地場産品を活用した食育」を通じて、江別市の持つ様々な魅力が子どもたちに理解される。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	申込人数	人	0	0	0	50
成果指標 2	参加者数	人	0	0	0	50

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	458
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,942
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	2,400

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	開催内容（予定） ・レクリエーション（異年齢交流） ・自然体験学習 ・昼食・夕食（調理時に食育）	・レクリエーション（異年齢交流） 166千円 ・自然体験学習 67千円 ・昼食・夕食（調理時に食育） 70千円 ・その他（バス借上げ、保険等） 155千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	令和3年4月、庁内横断的に少子化対策の事業を考案するための組織「少子化対策庁内連携会議」が設置され、少子化対策の観点で「子育て・就労を充実させること」（子育て・就労部会担当）と「住まいやあそび場などの魅力を創出すること」（魅力創出部会担当）の2点にテーマを絞り、令和4年度の新規事業化に向けた検討を行った。 検討の結果、少子化対策庁内連携会議（魅力創出部会）から、都市と農村の交流センター「えみくる」を拠点とした「道産木材を活用した魅力的な遊び場創設事業」と、その魅力をさらに高めるためのソフト事業として本事業が提言され、令和4年度の事業化に至った。

事業名：小中一貫教育推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実			
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内市立小中学校の児童生徒

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校児童生徒数	人	0	0	0	8,688
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

小中学校、家庭、地域で目指す子ども像を共有するとともに、9年間を通じた教育課程を編成し、体系的な教育を行うための小中一貫教育推進体制を整備する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	小中一貫教育導入学校数	校	0	0	0	2
活動指標 2	小学6年生の中学校登校日数	日	0	0	0	16

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

小中学校・家庭・地域が中学校卒業時の望ましい姿を共有しながら、義務教育の9年間で系統性と発達段階に応じた連続性のある指導に取り組む一貫教育を推進することで、目指す子ども像を実現する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	「自分にはよいところがある」と回答した生徒の割合	%	0	0	0	70
成果指標 2	「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合	%	0	0	0	70

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	2,719
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	4,661
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	7,380

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	令和2年度に策定した「江別市小中一貫教育基本方針」に基づき、市教委と各中学校区が行う様々な取組を通じて、学習習慣や生活規律の定着、中1ギャップの緩和、異学年交流の促進、教職員の意識改革などにより、目指す子ども像を実現する。各中学校区における取組については、各学校へ行った次年度計画の調査をもとに配分方針を作成し、予算を配分する。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修、会議の運営及び先進事例等視察に係る経費 748千円 ・ 小学校6年生が中学校登校を行う際に利用するバス代 1,365千円 ・ 小学校6年生が中学校登校を行う際の給食費差額 1,21千円 ・ 研究用教科書購入費 485千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	義務教育9年間を見通した体系的な教育活動を進める動きが全国で広まっている中、「第2期江別市学校教育基本計画」において、基本施策のひとつに「学校段階間の連携の推進」を掲げている。このことを受けて、小学校と中学校が課題や情報を共有し、系統性と連続性をもって指導に取り組み、より一層の教育の充実を図ることを目的として、全ての市立小・中学校で小中一貫教育を実施する。

事業名：公民館管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公民館

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	91,082	91,903	94,101	98,408
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、社会教育の中心施設となる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	利用者数	人	198,485	74,916	84,200	84,200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	93,185	94,978	96,291	100,598
正職員人件費 (B)		千円	1,922	3,052	2,661	1,942
総事業費 (A+B)		千円	95,107	98,030	98,952	102,540

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理協定の締結 施設及び物品の修繕 	指定管理料	98,408千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 図書館運営管理事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

情報図書館

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 施設数	施設	3	3	3	3
対象指標 2 施設数（学校図書館地域開放事業）	施設	2	2	2	2

手段（事務事業の内容、やり方）

情報図書館の運営管理に要する経費

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 年間開館日数（全館）	日	270	259	228	292
活動指標 2 運営・維持管理経費	千円	72,512	81,551	86,218	85,999

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・利用者が図書館を安全・快適に利用できる。
- ・施設が適切に運営管理される。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 年間資料貸出利用者数	人	169,105	142,149	122,000	151,000
成果指標 2 年間資料貸出冊数	冊	698,382	615,134	538,000	665,000

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	72,512	81,551	86,218	85,999
正職員人件費 (B)	千円	30,364	32,423	32,309	33,014
総事業費 (A+B)	千円	102,876	113,974	118,527	119,013

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	情報図書館の管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬等 52,325千円 ・燃料費・光熱水費 9,713千円 ・清掃等施設管理委託料 19,877千円 	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：図書館資料整備事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び市内に通勤・通学している人

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・図書館で作成した収集方針に沿って資料を収集する。
- ・月1回選書会議を行い購入する図書を選定する。
- ・相互貸借により資料を提供し補完する（道立図書館・全国公共図書館・道内外の大学図書館等）。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	資料購入冊数	冊	10,067	9,770	8,740	8,740
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

時代の趨勢や地域性を常に意識し、幅広いニーズに応えられるような資料の収集と提供を図ることにより、図書資料等に対する市民の関心が高まり、より多くの市民が図書資料等を利用するようになる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	市民一人当たりの貸出冊数	冊	5.8	5.1	4.6	5.6
成果指標 2	予約及びリクエスト件数	件	108,011	129,829	112,900	126,600

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	21,707	20,494	19,620	19,620
正職員人件費 (B)		千円	3,459	3,433	3,421	3,496
総事業費 (A+B)		千円	25,166	23,927	23,041	23,116

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	図書館の運営に必要な図書・雑誌・視聴覚資料等の整備に係る経費	雑誌・新聞・その他逐次刊行物等購入費 図書資料購入費	3,420千円 16,200千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：旧町村農場管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

旧町村農場

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	7,552	8,351	8,762	8,987
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、江別市における酪農の歴史を伝える場となる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	来場者数	人	8,420	4,441	2,765	2,765
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	8,293	8,587	9,042	9,308
正職員人件費 (B)		千円	1,537	1,526	1,520	1,165
総事業費 (A+B)		千円	9,830	10,113	10,562	10,473

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理協定の締結 施設の修繕 	指定管理料 8,987千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報図書館コンピュータ学習室事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略			
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策			
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

20歳以上の市民

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 20歳以上の市民	人	100,008	100,409	100,409	100,431
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・初心者パソコン教室等の開催
- ・インターネット体験のためのコンピュータ学習室開放の実施（毎月第1・第3土、日曜日）

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 各種パソコン講習会開催数	回	29	25	21	35
活動指標 2 インターネット体験の実施日数	日	21	30	29	45

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

パソコン教室等の実施により、パソコンに慣れ親しみ、パソコンを情報収集や伝達などに利用できる市民が増える。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 各種パソコン教室受講者数	人	170	107	95	190
成果指標 2 コンピュータ学習室利用者数(延べ利用者数)	人	1,883	859	1,000	1,800

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	292	743	1,003	1,005
正職員人件費 (B)	千円	4,228	4,196	4,181	4,272
総事業費 (A+B)	千円	4,520	4,939	5,184	5,277

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	初心者パソコン教室 EPOC講習会 初めてのパソコン講習会	22回 12回 1回	パソコンボランティア謝礼 初心者パソコン教室講師派遣委託料 EPOC講習会講師派遣委託料 コンテンツフィルタリング保守費
			71千円 660千円 60千円 139千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報図書館展示室事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

展示室で、普段目に触れる機会の少ない図書資料などの展示会を企画する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	展示会開催数	回	3	4	4	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

展示会を開催することにより、図書館の活動に関心を持ち、より多くの市民が図書館に足を運ぶようになる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	展示室入場者数	人	1,570	1,598	1,455	1,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	51	44	54	54
正職員人件費 (B)		千円	2,306	2,289	2,281	2,330
総事業費 (A+B)		千円	2,357	2,333	2,335	2,384

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	展示会の開催 「図書館まつり」 「土曜広場作品展」 「しかけ絵本と大型絵本展」他	展示会講師謝礼 展示会用消耗品	40千円 14千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：蒼樹大学事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

65歳以上の市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	65歳以上の市民	人	36,162	37,007	37,007	37,553
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

高齢者の学習機会として、蒼樹大学を開催する。
5～3月に毎月1、2回学習会開催

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	講座開催数	回	60	8	38	53
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

高齢者一人ひとりが生きがいを見出し、地域で生かすことのできる知識や技術を獲得する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	学生数	人	161	122	118	118
成果指標 2	出席率	%	83	90	72	72

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	567	63	501	501
正職員人件費 (B)		千円	1,922	1,907	2,661	1,942
総事業費 (A+B)		千円	2,489	1,970	3,162	2,443

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	・午前は現代的課題や歴史等を全体で学ぶ教養講座、午後は選択制の専攻講座（コーラス、太極拳、ふるさと学、絵手紙、体操）を実施。	蒼樹大学開催に係る費用 501千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報図書館視聴覚ライブラリー事業 情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

学校、社会教育関係団体等および市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・プロジェクターなどの機器は、学校や社会教育関係団体等からの申請により貸出する。
- ・ビデオソフトなどの教材は、個人へも貸出する。
- ・視聴覚教育に必要な機器と教材の充実を図るとともに、図書館ウェブサイトなどにより周知を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	ライブラリー機器の数	点	20	20	20	20
活動指標 2	ライブラリー教材の数	点	2,092	2,126	2,161	2,161

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・学校や社会教育関係団体等が視聴覚教材を学習の補助教材として活用することにより、学校の教育活動の充実と市民の社会教育活動の振興が図られる。
- ・より多くの市民が、自ら関心のある事柄について学習するようになる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	利用者数	人	2,530	2,014	1,700	1,700
成果指標 2	貸出件数	回	2,448	1,973	1,500	1,500

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	427	304	370	370
正職員人件費 (B)		千円	2,306	2,289	2,281	2,330
総事業費 (A+B)		千円	2,733	2,593	2,651	2,700

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係団体等への視聴覚機器の貸出 ・個人への教材の貸出 ・教材用DVDの購入 ・ビデオ上映会の実施 	貸出用教材購入費 著作権（上映権）使用料	304千円 66千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：読書普及活動事業

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

読書普及に向けたおはなし会、講演会などを開催する。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 図書館主催おはなし会など開催回数	回	298	241	199	341
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・おはなし会を通して、幼児・児童の読書に対する興味が喚起される。
- ・おはなし会や人形劇などを行うボランティア団体の活動が活性化される。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 読書普及事業の参加人数	人	3,355	2,236	1,691	2,800
成果指標 2					

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	315	260	368	370
正職員人件費 (B)	千円	2,306	2,289	2,281	2,330
総事業費 (A+B)	千円	2,621	2,549	2,649	2,700

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	本館及び分館でのおはなし会やイベントの開催	おはなし会講師謝礼	325千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：青少年ふれあい交流促進事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童・生徒の健全育成と幅広い世代間の交流等の社会教育活動を実施する地域の団体。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	補助対象事業数	団体	17	6	7	11
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

交流事業や芸術文化事業に対し、「江別市教育振興事業補助金規則」に基づき事業費の一部を支援する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,559	1,231	396	1,200
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各団体等が独立して活動を行うことにより、社会教育の充実が促進される。また、団体が地域と協働で活動することにより、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	8,850	2,863	1,897	1,897
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	1,559	1,231	800	1,200
正職員人件費 (B)		千円	769	763	760	777
総事業費 (A+B)		千円	2,328	1,994	1,560	1,977

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	社会教育の振興及び地域活動団体の育成・促進事業を実施する市内の団体などに対して、事業費の一部を支援する。	青少年ふれあい交流促進事業補助金 1,200千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	※事業No. 955江別音楽協会補助金を統合する。 事業No. 955江別音楽協会補助金において、江別音楽協会に補助金を支給していたが、江別音楽協会が次年度以降の補助金を辞退した。音楽協会から支援を受けていた団体を本事業で支援する予定。

事業名：えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業 生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

高校生以上の市民

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 高校生以上の市民	人	104,992	105,301	105,301	105,155
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市内4大学との共催で行う連携講座「ふるさと江別塾」の開催。
- ・市内4大学や社会教育関係団体が主催する市民向け講座、市主催の講座を「えべつ市民カレッジ」として位置付け、総合的に学ぶ機会を提供する。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 連携団体数	団体	6	6	6	6
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

知的資源を有する市内4大学等と連携し、様々な市民の学習要求に応えることにより、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える環境をつくるとともに、まちづくりの身近な地域課題に対する気づきの機会も提供されている。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 えべつ市民カレッジ講座数	講座	208	46	100	100
成果指標 2					

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	194	182	183	183
正職員人件費 (B)	千円	2,690	2,670	2,661	2,719
総事業費 (A+B)	千円	2,884	2,852	2,844	2,902

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度 ・市内4大学と連携を図りながら、各大学を会場とした「ふるさと江別塾」を開催する。 ・ふるさと江別塾に加え、各大学等で開催している市民公開講座、市主催講座、社会教育関係団体主催講座と連携し、それらの講座をえべつ市民カレッジとして位置付け、総合的に市民へ情報提供する。 ・受講履歴を記録できるカレッジ手帳により、受講単位に応じ称号を授与する。	・ふるさと江別塾開催に係る経費 140千円 ・えべつ市民カレッジ受講シール、称号授与に係る経費 43千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：コミュニティセンター管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

コミュニティセンター

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	16,670	16,824	17,194	17,297
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、市民相互のふれあいのなかで地域経済活動の促進を図り、地域づくりの拠点となる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	利用者数	人	138,060	19,933	25,900	25,900
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	16,670	16,823	17,194	17,297
正職員人件費 (B)		千円	1,153	1,907	1,520	1,165
総事業費 (A+B)		千円	17,823	18,730	18,714	18,462

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	・指定管理協定の締結	指定管理料	17,297千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：社会教育団体支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市女性団体協議会、江別市聚楽学園、江別市生涯学習推進協議会
 ※令和4年度から江別市PTA連合会は家庭教育支援事業で交付

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	補助団体数	団体	4	4	4	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市女性団体協議会」「江別市聚楽学園」「江別市生涯学習推進協議会」に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	2,538	1,466	2,538	2,170
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

それぞれの団体が独立して活動を行うことで、社会教育活動が活性化する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	3,185	770	2,313	1,734
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	2,538	1,466	2,538	2,170
正職員人件費 (B)		千円	4,612	4,577	6,082	4,272
総事業費 (A+B)		千円	7,150	6,043	8,620	6,442

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	・「江別市女性団体協議会」「江別市生涯学習推進協議会」「江別市聚楽学園」への補助金交付	・江別市女性団体協議会への補助金 400千円 ・江別市生涯学習推進協議会への補助金 1,000千円 ・江別市聚楽学園への補助金 770千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	令和4年度から江別市PTA連合会補助金を事業No. 6230家庭教育支援事業に統合し、市P連が行っている他の研修会等も家庭教育支援事業として一体的に事業展開する。

事業名：家庭教育支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
 子育て中の保護者、一般市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	小中学校の家庭数	件	7,093	7,094	7,126	7,104
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
 家庭教育に係る研修会等の実施

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	事業開催数	回	14	2	4	14
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
 子育て中の保護者の悩みや不安の軽減に繋がる支援を行う

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	729	21	122	122
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	219	21	162	508
正職員人件費 (B)		千円	1,537	1,526	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	1,756	1,547	1,682	2,062

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別市PTA連合会への補助金交付 江別市家庭問題研究会の活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 江別市PTA連合会への補助金 408千円 家庭問題研究会への研修委託料 100千円 	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	事業No6156社会教育団体支援事業で支出していた江別市PTA連合会補助金を家庭教育支援事業に統合した。市P連が行っている他の研修会等も家庭教育支援事業として一体的に事業展開する。

事業名：市民交流施設関連経費（情報図書館）

情報図書館 主査（奉仕・事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	01 生涯学習の充実			具体的施策				
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
 市民及び市内に通勤・通学している人

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
 市民交流施設で、図書館資料の貸出・返却業務などを行う。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	業務日数	日	67	307	358	359
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
 利用者の利便性を高め、図書館利用数を増加させる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	年間資料貸出利用者数	人	928	5,680	4,912	5,500
成果指標 2	年間資料貸出冊数	冊	2,018	12,955	10,689	12,000

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	2,822	1,993	2,356	2,359
正職員人件費 (B)		千円	384	763	760	777
総事業費 (A+B)		千円	3,206	2,756	3,116	3,136

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	市民交流施設における予約図書等の貸出・返却業務の実施に要する経費	図書館業務委託料	2,359千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： ガラス工芸館管理運営経費

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・ガラス工芸館
- ・ガラス工芸家

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	敷地面積	m ²	1,024.39	1,024.39	1,024.39	1,024.39
対象指標 2	延床面積	m ²	242.72	242.72	242.72	242.72

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・施設の管理運営
- ・ガラス工芸家の創作活動公開

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	開館日数	日	62	48	35	61
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

創作活動及び作品鑑賞の場として公開することにより、工芸の分野における文化の振興に資する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	来館者数	人	1,365	657	515	515
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	2,026	1,886	1,977	1,973
正職員人件費 (B)		千円	769	763	760	777
総事業費 (A+B)		千円	2,795	2,649	2,737	2,750

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス工芸館の管理運営 ・ガラス製作体験事業の開催 	管理運営費 1,973千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：セラミックアートセンター企画展開催事業 セラミックアートセンター

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市内の高等教育機関等との共催展開催を通して、市民へ創作発表機会を提供する。
- ・道内外の美術館との連携展や館蔵品展を開催し、市民へ鑑賞機会を提供する。
- ・市内関係機関や道内外の美術館・博物館等へ催事の効果的な告知周知を行う。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	企画展開催数	回	4	3	4	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民協働による展示会の開催と、その観覧を通して、市民が文化活動への参加意欲を高めている。
- ・良質な芸術作品を紹介することで、市民が陶芸文化への理解を深めるとともに、地域文化の特色を再認識している。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	企画展入場者数	人	4,778	1,682	1,900	1,400
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	9,871	6,300	5,020	625
正職員人件費 (B)		千円	9,609	6,103	6,462	5,438
総事業費 (A+B)		千円	19,480	12,403	11,482	6,063

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「江別市中学校・高校美術部合同展」ほか計3回の企画展を開催 ・開館30周年記念展の開催協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・「江別市中学校・高校美術部合同展」の開催経費 61千円 ・開館30周年記念展の開催協議旅費 391千円 	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
その他	・感染症の収束が見通せない中においては、中止延期の影響を受けやすい他館との連携等は控え、感染症防止策を徹底し、市民の創作発表機会や鑑賞機会の提供を継続していくほか、館蔵品展を開催する。

事業名：セラミックアートセンター管理運営経費 セラミックアートセンター

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）						
<ul style="list-style-type: none"> ・セラミックアートセンター ・市民 						

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777

手段（事務事業の内容、やり方）						
<ul style="list-style-type: none"> ・設備不具合を未然に防ぎ、施設機能を維持するための適切な施設管理を行う。 ・小森忍、道内作家作品及びれんが資料を調査収集し、展示する。 ・展示室と工房各設備を適切に管理運営し、観覧、利用に供する。 						

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	開館日数	日	283	264	230	300
活動指標 2	運営・維持管理経費	千円	39,740	38,916	38,930	39,634

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備を適切に管理運営することで、安心安全かつ快適に利用されている。 ・市民が観覧や利用を通して、ふるさと・江別が「やきもののまち」であることへの理解を深めている。 						

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	利用者数	人	24,490	17,069	12,000	18,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	39,740	38,916	38,930	39,634
正職員人件費 (B)		千円	4,997	7,629	7,602	8,545
総事業費 (A+B)		千円	44,737	46,545	46,532	48,179

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・セラミックアートセンターの維持管理 ・小森忍、道内作家作品及びれんが資料の収集・展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬 3,234千円 ・暖房用重油代等燃料費 3,869千円 ・電気代等光熱水費 4,900千円 ・維持管理関係委託料 25,373千円 	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子どもの文化活動育成事業（土曜広場）

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
 子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	推進委員数	人	12	12	12	12
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
 子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	900	827	900	1,200
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
 推進委員会が、地域資源となる地域に在住する伝統的文化活動等の指導者の方々の協力を得て、土曜広場を提供することで、子どもたちの日本文化に対する理解を深め、文化芸術活動を拡充する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	開催学校数	校	16	0	17	17
成果指標 2	参加者数	人	769	0	311	350

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	900	827	900	1,200
正職員人件費 (B)		千円	1,922	1,907	1,901	1,942
総事業費 (A+B)		千円	2,822	2,734	2,801	3,142

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内各小学校の施設を活用して日本の伝統的文化活動を体験・学習する機会を提供する推進委員会に対し、補助金を交付する。 【土曜広場】 会場：市内小学校17か所 実施日：月2回土曜日午前中（10回程度/校） 活動種目：囲碁、手芸、百人一首など20種類程度 	・補助金 1,200千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	新型コロナウイルスの影響等により消毒等費用、スタッフの負担増となるため補助金を増額。

事業名：市民文化ホール管理運営事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民文化ホール

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	51,403	52,370	53,224	54,388
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、市民の芸術文化活動の発展を図り、心豊かなまちづくりに寄与する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	利用者数	人	54,573	14,023	25,400	25,400
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	51,832	288,320	53,314	54,478
正職員人件費 (B)		千円	1,153	3,051	1,520	1,165
総事業費 (A+B)		千円	52,985	291,371	54,834	55,643

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理協定の締結 施設の修繕 	指定管理料	54,388千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別市文化協会補助金（文化協会事業・市民文化祭開催支援事業）

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

NPO法人江別市文化協会

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	江別市文化協会加盟会員数	人	1,859	1,782	1,792	1,713
対象指標 2	加盟団体数	団体	109	110	109	101

手段（事務事業の内容、やり方）

市内の文化団体相互の連絡協調とその活動の促進を図るとともに、芸術文化・生活文化を通じて情操豊かな市民文化の振興と健康で文化的なまちづくりに寄与するための事業を行うNPO法人江別市文化協会に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	2,750	2,750	2,750	2,750
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市文化協会会員による自主的・主体的な芸術文化活動が活発に行われ、広く市民にその活動が浸透し、新たな活動領域の出現や団体等の形成、会員の増加を促進する。
また、市民文化祭を開催することで、発表や鑑賞等を契機に芸術文化活動への興味関心が高まり、市民主体のより積極的な活動が行われる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	主催・支援事業数	件	21	9	10	10
成果指標 2	市民文化祭参加者数（出演者＋来場者）	人	15,270	5,583	8,000	8,000

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	2,750	2,750	2,750	2,750
正職員人件費 (B)		千円	2,691	2,670	2,661	2,330
総事業費 (A+B)		千円	5,441	5,420	5,411	5,080

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	・NPO法人江別市文化協会に対し、事業費を補助 【対象事業】 ①会員交流事業、②会員拡大・研修・活動促進事業、③顕彰事業、④文化活動発信事業、⑤えべつ文化未来事業、⑥文化振興調査研究事業 ・市民文化祭の開催事業経費から事業収入を控除した額を補助 【部門別事業】 ①舞台部門（11事業） ②展示部門（8事業） ③文芸部門（4事業） ④生活文化部門（2事業）	・補助金（文化協会事業・市民文化祭開催支援事業） 2,750千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	令和4年度から、事業No. 483江別市文化協会補助金（文化協会事業）と事業No. 618市民文化祭開催支援事業を統合して一体的に事業展開をする。

事業名：文化振興奨励事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人・団体に対し、「江別市芸術文化大会・コンクール出場奨励金支給要綱」に基づき全国大会等出場奨励金を支給する。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 奨励金支給個人数	人	9	1	4	4
活動指標 2 奨励金支給団体数	団体	0	0	2	2

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人や団体を奨励することにより、さらなる意欲の向上が図られ、地域の文化・芸術を担う人材が育成される。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 入賞個人数	人	7	0	4	4
成果指標 2 入賞団体数	団体	0	0	2	2

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	90	10	240	240
正職員人件費 (B)	千円	384	381	380	388
総事業費 (A+B)	千円	474	391	620	628

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度 各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人・団体に奨励金を支給する。 ・個人：10,000円以内。本市に在住していること。 ・団体：100,000円以内（10人未満の団体は、出場者数に10,000円を乗じた額以内の額）。本市に主たる活動の場を有し、かつ、その構成員の8割以上が本市在住の市民で組織されていること。 ※いずれも就学以前の者を除く。	・全国大会等出場奨励金240千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民芸術祭開催支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

芸術文化の振興を目的とする市民組織

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	構成関係団体数	団体	2	1	2	4
対象指標 2	構成委員数	人	15	8	16	54

手段（事務事業の内容、やり方）

幅広い市民参加及び専門家による創作を発表する事業を実施する各実行委員会に対し、「江別市芸術文化奨励補助金交付要綱」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,600	500	900	1,900
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動を活発に行い、江別市独自の創造型芸術文化活動を創出する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	市民芸術祭の参加者数（参加者＋鑑賞者）	人	1,610	165	440	2,280
成果指標 2	開催事業数	回	3	2	3	5

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	1,600	500	900	1,900
正職員人件費 (B)		千円	3,459	2,670	3,041	2,719
総事業費 (A+B)		千円	5,059	3,170	3,941	4,619

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台部門（市民ミュージカル公演 3年に1回。コロナで1年延び、次回R5予定） ・音楽部門（まちかどコンサート 年2回） ・展示部門（市民美術展受賞作品展 5年に1回、次回R4。まちなかアート月間 年1回） ・各実行委員会に対し補助金を交付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金（市民ミュージカル実行委員会）400千円 ・補助金（まちかどコンサート実行委員会）500千円 ・補助金（市民美術展受賞作品展実行委員会）500千円 ・補助金（まちなかアート月間実行委員会）500千円 	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	若手作家や学生の芸術活動への支援や作品鑑賞の機会の充実を図る。

事業名：野幌太々神楽伝承会補助金

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市野幌太々神楽伝承会

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	構成員数	人	23	26	23	25
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市民団体として、市民への公演会や保存団体への協力を行う太々神楽の保存伝承活動を支援し、永く無形民俗文化財の保存に努める。
 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	300	300	300	300
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

指定文化財「野幌太々神楽」を永く保護保存するとともに、保存伝承活動を全市的活動に広げる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	32	11	28	28
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	300	300	300	300
正職員人件費 (B)		千円	384	381	380	388
総事業費 (A+B)		千円	684	681	680	688

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	江別市野幌太々神楽伝承会の公演等の保存伝承活動事業に対し、補助金を交付し支援する。	江別市野幌太々神楽伝承会への補助	300千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：野幌太々神楽保存会補助金

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市指定文化財保存団体「野幌太々神楽保存会」

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	構成員数	人	155	151	155	150
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市指定文化財保持団体の保存伝承活動を支援し、永く無形民俗文化財の保存に努める。
 ・「文化財保護条例」、「文化財保護条例施行規則」に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	150	125	150	150
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

指定文化財を適切に保護、保存する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	発表会及び研修会等活動日数	日	30	8	24	24
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	150	125	150	150
正職員人件費 (B)		千円	384	381	380	388
総事業費 (A+B)		千円	534	506	530	538

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	市指定文化財「野幌太々神楽」の保持団体である「野幌太々神楽保存会」の保存伝承活動に対し、補助金を交付し支援する。	野幌太々神楽保存会への補助	150千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：陶芸文化普及振興事業

セラミックアートセンター

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・工房利用者や教室受講者の成果発表機会を提供する。
- ・常設展示によるやきもの文化の学習機会を提供する。
- ・陶芸体験、初級・中級等の教室や講座を開催する。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 展示事業数	回	1	1	1	1
活動指標 2 教室・講座等事業数	事業	25	25	28	29

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・工房利用者等の成果発表展の出展、観覧を通して、出展者は創作意欲がさらに高まることで施設を継続的に利用し、観覧者はやきものへ親しみを感じ、新たな施設利用者となる。
- ・常設展示の観覧を通して、やきもの文化への理解が深まっている。
- ・陶芸教室等を受講することで、陶芸文化への興味関心、学習意欲が高まっている。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 展示事業入場者数	人	3,995	2,946	1,600	3,000
成果指標 2 教室・講座等事業参加者数	人	5,291	3,493	2,900	4,000

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	6,389	6,556	7,125	6,563
正職員人件費 (B)	千円	3,844	5,340	4,941	5,438
総事業費 (A+B)	千円	10,233	11,896	12,066	12,001

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度 ・「工房利用者作品展」等の展示事業の実施 ・陶芸教室、陶芸体験、各種講座等の実施	・陶芸指導員報酬 4,873千円 ・陶芸教室等事業費 765千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：芸術鑑賞招へい事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

芸術鑑賞機会の充実を目的とする市民団体

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	補助金交付市民団体数	団体	3	3	4	4
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

芸術文化鑑賞機会の充実を目的とする市内の芸術文化活動団体に対し、「江別市芸術文化奨励補助金交付要綱」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,633	1,400	1,300	2,050
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民の主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動が活発に行われる。
- ・質の高い芸術鑑賞機会が増える。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	鑑賞者数	人	1,117	659	930	1,930
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	1,633	1,400	1,950	2,050
正職員人件費 (B)		千円	769	763	760	777
総事業費 (A+B)		千円	2,402	2,163	2,710	2,827

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	・プロの団体・個人を招へいし、質の高い舞台芸術公演を実施する。	・音楽関係公演	1,200千円
		・演芸関係公演	650千円
		・演劇関係公演	200千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：埋蔵文化財発掘調査事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

埋蔵文化財包蔵地（遺跡）

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	埋蔵文化財包蔵地	カ所	142	142	142	142
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

1. 埋蔵文化財包蔵地のデータ管理及び確認調査等の実施と、資料の整備・公開により、市民ほか関係者に周知する。
2. 埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い発掘調査等の措置により、記録保存を行う。
3. 各種土木工事等に伴う発掘調査費の積算や、国・道費との調整を図り、事業を実施する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	所在確認調査・試掘調査実施件数	件	4	3	5	3
活動指標 2	発掘調査実施件数	件	1	1	4	3

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

埋蔵文化財を適切に保護、保存する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	埋蔵文化財保護件数	件	5	4	9	6
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	10,465	17,177	34,431	42,274
正職員人件費 (B)		千円	13,837	14,495	13,684	15,536
総事業費 (A+B)		千円	24,302	31,672	48,115	57,810

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）		
4年度	埋蔵文化財包蔵地の現状保存が困難な各種土木工事等に伴い、記録保存のための発掘調査を実施する。 埋蔵文化財包蔵地に関する資料の管理・公開や確認調査等を実施する。	発掘調査に伴う費用	作業員等報酬	13,316千円
			委託料	19,659千円
		確認調査等に伴う費用	委託料	363千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：郷土資料館企画展開催事業

郷土資料館 文化財係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	0	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- 郷土資料館収蔵資料を中心とした企画展を開催する。
- 未公開資料を積極的に活用し、市民に多くの郷土資料を紹介する。
- 展示資料の追調査等を実施することによって、資料データの充実を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	企画展開催数	回	2	1	0	2
活動指標 2	展示資料点数	点	155	40	0	100

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

郷土資料館収蔵資料の公開を通じて、市民に郷土の歴史・文化に関心を持ってもらい、さらに、ふるさと意識の醸成を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	企画展入場者数	人	3,525	1,256	0	2,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	59	78	0	92
正職員人件費 (B)		千円	1,537	763	0	3,107
総事業費 (A+B)		千円	1,596	841	0	3,199

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	郷土資料館ロビーにて企画展を開催し、市民の寄贈資料や発掘調査で得た考古資料等を公開することで、江別の歴史や文化に対する関心を深めてもらう。	展示に伴う経費	92千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
その他	令和3年度は、文化財整理室移転に伴い休止したが、収蔵資料の移転作業が終了したため事業を再開する。

事業名：ふるさと江別塾～「江別を学ぶ」開催事業 郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市民が郷土史を学ぶための各種講座を開催するとともに、見学受け入れや出前授業等を通じて小中学校の学習を支援する。

- ・子ども学芸員カレッジ（小学生）
- ・縄文土器を作ろう！（小学生）
- ・総合的な学習支援事業（小中学生）
- ・再発見・江別探訪（一般）
- ・ふるさと歴史講座（一般）
- ・歴史を学ぼう（小中学生・一般）

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	事業開催回数	回	46	46	35	40
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民に郷土の歴史に対する理解を深めてもらう。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	2,313	2,161	1,800	2,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	135	120	195	195
正職員人件費 (B)		千円	4,228	4,196	3,041	4,272
総事業費 (A+B)		千円	4,363	4,316	3,236	4,467

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	○小学生対象 ・子ども学芸員カレッジ：学芸員の仕事体験などを通じて江別の歴史を学ぶ連続型講座 ・縄文土器を作ろう！：大昔に使われていた「縄文土器」を当時と同じ方法で制作する体験型講座 ○一般対象 ・再発見・江別探訪：市内の史跡を徒歩やバスで巡る見学ツアー ・ふるさと歴史講座：江別及び北海道の歴史や文化をテーマとした講演会	各種講座開催経費 ・子ども学芸員カレッジ 58千円 ・縄文土器を作ろう！ 40千円 ・再発見・江別探訪 59千円 ・ふるさと歴史講座 25千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：郷土資料館管理運営経費

郷土資料館 業務係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

郷土資料館
 屯田資料館
 野幌屯田兵屋

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

郷土資料館の維持管理に要する経費。
 ・常設展・企画展など展示事業の適正な管理運営
 ・講座等教育普及事業の適正な管理運営
 ・郷土資料の収集・保存・調査研究
 屯田資料館及び野幌屯田兵屋の維持管理並びに運営に関する経費。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	郷土資料館開館日数	日	283	264	230	300
活動指標 2	屯田資料館開館日数	日	69	54	37	64

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・市民に江別の歴史を理解してもらう。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	郷土資料館利用者数	人	7,022	4,537	4,000	4,000
成果指標 2	屯田資料館及び野幌屯田兵屋利用者数	人	1,102	864	513	600

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	13,231	14,649	16,005	15,972
正職員人件費 (B)	千円	4,612	7,248	6,082	7,380
総事業費 (A+B)	千円	17,843	21,897	22,087	23,352

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	郷土資料館、屯田資料館、野幌屯田兵屋の維持管理及び展示資料の公開	・施設管理及び解説担当職員報酬	5,452千円
		・燃料費（重油等）	684千円
		・光熱水費（電気、ガス、水道）	1,216千円
		・保守管理委託経費	6,273千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：北海道林木育種場旧庁舎保存利活用推進事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	令和 3年度	終了年度	令和 4年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 市民	人	0	0	119,883	119,777
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

北海道林木育種場旧庁舎の歴史的価値の伝承と地域の交流促進のため、セミナー・ワークショップを行う。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 実施事業数	件	0	0	0	3
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民が歴史的文化的価値に触れる機会が増えることにより、建物への理解を深め、文化財保護の意識を高める。
- ・市内大学関係者による会合等での利用を推進する。
- ・在宅ワーカーや起業家、個人事業主の利用を推進し、北海道林木育種場旧庁舎がビジネスの場につながる。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 事業参加者数	人	0	0	0	300
成果指標 2					

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	92,621	1,432
正職員人件費 (B)	千円	0	0	3,801	1,554
総事業費 (A+B)	千円	0	0	96,422	2,986

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市民対象の建物歴史セミナー開催 ・市内大学教員・学生対象の施設活用プレゼン会開催 ・コワーキングビジネス体験会（在宅ワーカーや起業家、個人事業主等を対象とした体験会）開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物歴史セミナー 76千円 ・市内大学施設活用プレゼン会 225千円 ・コワーキングビジネス体験会 1,131千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	建物の周知啓発と利活用促進に係るセミナー・ワークショップを行う。

事業名：旧町村農場保存活用推進事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

旧町村農場

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	旧町村農場	施設	0	0	0	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

令和4年度 施設利用ニーズ調査等・実施設計
令和5年度 改修工事

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	事業費	千円	0	0	0	13,261
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

老朽化した施設を改修するとともに、長期的に市民に親しまれ、多くの人に利用される施設となるよう機能強化を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	改修された施設数	施設	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	13,261
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,165
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	14,426

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用ニーズ調査等 市民意見の聴取 実施設計 	施設利用ニーズ調査等	1,271千円
		実施設計	11,990千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	昭和3年頃建築された旧町村農場は、江別市が平成7年に取得し、平成8年から江別の酪農の歴史を伝える施設として広く利用されているところであるが、建築から90年以上が経過し、大規模な改修が必要な状況である。このため施設を改修し、江別市の酪農景観と歴史、北海道酪農の先駆者である町村敬貴の業績を伝える場だけでなく、新たな機能を付加した施設へ改修を図る。

事業名：学校プール開放事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	開放校区の児童・生徒（中学生）数	人	8,654	8,689	8,145	8,169
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学校プールを夏季休業期間中、開放・管理する。プールの水質管理のほか、開放校毎に開放時間中2名のプール監視員を配置し、原則、日曜と水曜を休業日としている。午前10時から正午までと午後1時から午後3時30分まで開放している。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	開放校数	校	15	0	0	15
活動指標 2	開放日数	日	14	0	0	14

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校プールを夏季休業期間中開放し、水泳に親しむ機会を提供することで、小中学生の体力・健康増進を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	利用者数	人	9,499	0	0	10,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	3,553	0	3,647	3,643
正職員人件費 (B)		千円	2,306	381	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	5,859	381	5,167	5,197

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	夏季休業期間中に小学校15校のプールを、開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者に開放する。	監視員等報酬 3,229千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 体育施設開放事業（学校体育館土曜開放）

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

開放校及びその周辺地区の児童、生徒及びその保護者

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	実施校区の児童・生徒数	人	5,751	5,759	5,738	5,713
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学校週5日制の対応として、毎週土曜日午前8時30分から正午まで市内10小学校の体育館を開放し、利用者の自由なスポーツ活動（バドミントン・バレーボール・バスケットボール・ドッジボール・その他軽スポーツ等）に供するほか、グラウンドを自由開放する。出入口の錠の開閉や安全管理・器具使用上等の指導・説明等のため1校に2名の指導員を配置している。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	開放校数	校	10	10	10	10
活動指標 2	開放日数	日	178	134	116	190

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・学校週5日制により生じた休日の子供たちが家に閉じこもることなく、有意義に過ごし健やかに成長する。
- ・スポーツ少年団等のスポーツ組織へ未加入の子供たちに対し、スポーツに親しむ機会を提供する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	利用者数	人	2,220	2,102	1,300	2,300
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	1,066	794	1,171	1,165
正職員人件費 (B)		千円	1,537	1,526	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	2,603	2,320	2,691	2,719

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	土曜日に小学校10校の体育館及びグラウンド（夏季）を、開放校及びその周辺の児童、生徒及びその保護者に開放する。	指導員謝礼	1,040千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：屋外体育施設管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

屋外スケートリンク

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 施設数	施設	2	2	2	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・屋外スケートリンクのリンク造成、運営管理を行う。
- ・業務委託で行う。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 屋外スケートリンク開場日数	日	22	26	25	25
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、市民がスポーツに親しむ場を提供する。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 屋外スケートリンク利用者	人	9,635	3,155	11,000	11,000
成果指標 2	人				

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	6,188	6,319	6,260	4,776
正職員人件費 (B)	千円	1,537	763	760	777
総事業費 (A+B)	千円	7,725	7,082	7,020	5,553

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	スケートリンク造成、管理運営を業務委託により実施する。	委託料 4,776千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
その他	はやぶさ運動広場の移転に伴い、施設数が減少。

事業名：スポーツ少年団補助金

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市スポーツ少年団

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	登録団数	団	44	42	37	37
対象指標 2	登録団員数	人	938	856	832	832

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・スポーツ少年団が行う単位少年団育成強化事業、交流事業、リーダー養成事業等に対して補助を行う。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市体育協会を通じて江別市スポーツ少年団に対し定額を補助する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,901	1,638	1,898	1,815
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・スポーツを行う青少年を増やす。
- ・青少年スポーツを指導する有資格者を増やす。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	小中学生に対するスポーツ少年団員の割合	%	10.8	9.9	9.9	9.6
成果指標 2	認定指導員の数	人	162	150	130	130

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	1,901	1,638	1,898	1,815
正職員人件費 (B)		千円	769	763	760	777
総事業費 (A+B)		千円	2,670	2,401	2,658	2,592

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	江別市スポーツ少年団に対し補助金を支出。	補助金	1,815千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： あけぼのパークゴルフ場管理運営事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
あけぼのパークゴルフ場

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	10,919	11,082	11,345	12,228
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
施設の維持管理を適切に行い、パークゴルフに親しむ場を提供する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	利用者数	人	33,140	36,433	25,180	37,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	10,919	11,082	11,345	12,228
正職員人件費 (B)		千円	769	763	760	777
総事業費 (A+B)		千円	11,688	11,845	12,105	13,005

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料	12,228千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別市スポーツ協会補助金

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市スポーツ協会

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	加盟団体数	団体	25	24	25	25
対象指標 2	加盟人数	人	7,357	6,876	6,500	6,500

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・スポーツ協会が行う単位協会活動費補助事業、ジュニアスポーツ育成事業、全道大会開催助成事業等に対し補助を行う。
- ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市スポーツ協会に対し定額を補助する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,713	1,136	1,417	1,462
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・競技力の向上
- ・競技スポーツをする人の増加
- ・競技スポーツを指導する人の増加と資質向上

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	主催・共催事業実施数	事業	5	3	4	5
成果指標 2	有資格指導者数	人	386	376	440	440

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	1,713	1,136	1,417	1,462
正職員人件費 (B)		千円	769	763	760	777
総事業費 (A+B)		千円	2,482	1,899	2,177	2,239

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	江別市スポーツ協会に対し補助金を支出。	補助金	1,462千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：全国大会等開催補助事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市で開催される全国大会の運営経費の一部を補助する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	全国大会件数	件	1	0	0	0
活動指標 2	補助金額	千円	150	0	0	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民が全国レベルの高度なプレーに触れることができる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	参加者数	人	486	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	150	0	150	0
正職員人件費 (B)		千円	384	0	380	0
総事業費 (A+B)		千円	534	0	530	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	令和4年度は、市内で開催予定の大会がないため、補助金の支出なし。	なし

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
休止	市内で開催される全国大会に対する補助であり、令和4年度は開催予定の大会がないため、補助金の支出なし。

事業名：森林キャンプ場管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

森林キャンプ場

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	8,120	7,777	8,061	7,782
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・運営を適切に行い、自然と触れ合う場を提供する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	利用者数	人	3,945	14,632	5,110	15,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	8,120	7,777	8,061	7,782
正職員人件費 (B)		千円	769	763	760	777
総事業費 (A+B)		千円	8,889	8,540	8,821	8,559

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料	7,782千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ普及奨励事業（スポーツ大会出場奨励金交付）

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
 全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	全道大会規模以上のスポーツ大会に出場する市民数	人	219	16	45	301
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
 予選を経て、全道規模以上の大会に出場する市民（個人及び大学生以下の団体）の参加負担の軽減を図るとともに、市のスポーツ支援政策として奨励金を交付する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,458	62	317	2,000
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
 スポーツ大会に出場する市民の経費負担を軽減し、スポーツの振興を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	全道大会出場者数	人	116	14	19	148
成果指標 2	全国大会出場者数	人	99	2	26	143

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	1,458	62	2,000	2,000
正職員人件費 (B)		千円	1,537	381	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	2,995	443	3,520	3,554

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	予選を経て、全道大会以上に出場する市民に奨励金を交付する。 全道大会出場：小学生・中学生のみ 3,000円/人 全国大会出場：道外開催 10,000円/人、道内開催 5,000円/人 国際大会出場：10,000円～30,000円/人（大会内容、開催地によって変動）	奨励金 2,000千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ普及奨励事業（青少年スポーツ賞顕彰）

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

スポーツ競技団体登録児童生徒

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算	
対象指標 1	スポーツ競技団体登録児童生徒数	人	938	856	832	832
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。
 ・スポーツ賞：全国大会で、優秀な成績記録を収めた者（高校生以下）
 ・スポーツ奨励賞：全道大会で1位の成績記録を収めた者（高校生以下）
 ・教育委員会賞：全道大会で2位又は3位の成績記録を収めた者（中学生以下）

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算	
活動指標 1	審査会開催数	回	3	2	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各種スポーツ競技において優秀な成績を収めた選手を表彰することによって、競技スポーツの活性化を図る。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算	
成果指標 1	受賞者数	人	83	19	41	75
成果指標 2						

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	2,012	835	1,495	1,495
正職員人件費 (B)	千円	1,922	1,907	1,520	1,554
総事業費 (A+B)	千円	3,934	2,742	3,015	3,049

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	全国大会・全道大会で優秀な成績を収めた児童生徒を表彰する。	表彰楯・記念バッジ 1,315千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：社会人体育団体学校開放事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

スポーツ・レクリエーション活動を行うスポーツクラブ（学校部活・営利団体を除く）

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	クラブ登録数	団体	132	136	129	130
対象指標 2	クラブ登録人数	人	2,796	2,858	2,812	2,900

手段（事務事業の内容、やり方）

10名以上で、かつその8割以上が市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内25小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	開放校数	校	25	25	25	25
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民のスポーツクラブが定期的にスポーツ・レクリエーション活動を行うことが可能な場を提供することによって、競技スポーツの振興と健康・体力づくりとしてのスポーツに親しむ機会が増加する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	学校開放利用人数	人	133,527	92,536	81,000	130,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	87	17	263	263
正職員人件費 (B)		千円	2,690	1,526	1,520	1,554
総事業費 (A+B)		千円	2,777	1,543	1,783	1,817

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	10名以上で、かつその8割以上が市内に在住又は勤務先を有し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を対象として、市内25小中学校体育館（通年）とグラウンド（夏季）の開放を行う。	清掃用具・スポーツ用品等消耗品 175千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：地域スポーツ活動活性化促進事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

学校、自治会等

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 学校、自治会等の数	団体	188	188	190	190
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

地域や学校、団体などにメニューを提示し、選ばれた軽スポーツメニューの指導要求に応じ、スポーツ推進委員が指導に出かける。活動場所の確保は依頼団体が行う。
メニューは子どもから高齢者まで楽しめるものを多数用意している。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 スポーツ推進委員数	人	25	25	23	30
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

軽スポーツ、レクリエーションに親しむ人を増やす。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 出前指導派遣者数	人	27	6	3	24
成果指標 2					

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	299	87	269	269
正職員人件費 (B)	千円	384	381	380	388
総事業費 (A+B)	千円	683	468	649	657

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	地域や学校、団体からの申込に応じ、スポーツ推進委員を派遣して、軽スポーツを指導・普及する。	スポーツ推進委員報酬 151千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 3市交流スポーツ大会開催事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市、札幌市厚別区、北広島市の市民を対象に実施する交流事業の一つで、スポーツ部門ではパークゴルフ大会を3市持ち回りで開催する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	大会数	大会	1	0	0	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

近隣市の地域住民がスポーツ大会を通じて交流し、親睦を深めるとともに、参加者の健康増進と技術の向上を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	市民の参加者数	人	54	0	0	70
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	381	0	0
総事業費 (A+B)		千円	0	381	0	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	パークゴルフ大会を3市で持ち回りで開催。	なし

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ大会等振興補助事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般財団法人江別市スポーツ振興財団

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	対象団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・江別市スポーツ振興財団が行う原始林クロスカントリー大会などのスポーツ大会、健康体づくり指導相談事業、スポーツ指導者養成事業に対して補助を行う。
 ・「江別市スポーツ振興財団運営費等補助金交付要領」に基づき、一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し定額を補助する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	43,348	42,734	43,462	40,842
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

健康づくりに興味・関心を持ち、大会参加を視野に入れたスポーツ活動を日常的に継続できる習慣を身につけ、生涯スポーツの基盤を構築する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	参加者数	人	7,847	3,652	5,700	7,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	43,348	42,734	43,462	40,842
正職員人件費 (B)		千円	769	763	760	777
総事業費 (A+B)		千円	44,117	43,497	44,222	41,619

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	一般財団法人江別市スポーツ振興財団に対し、補助金を支出。	補助金	40,842千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：屋内体育施設管理運営事業

スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略				
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）
 市民体育館、大麻体育館、青年センター、東野幌体育館

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	施設数	施設	4	4	4	4
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）
 指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	187,608	195,592	194,177	209,718
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
 施設の維持管理・運営を適切に行い、スポーツに親しむ場を提供する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	利用者数（4館合計）	人	452,777	239,586	500,000	500,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	187,608	195,592	194,177	209,718
正職員人件費 (B)		千円	3,075	2,289	2,281	2,330
総事業費 (A+B)		千円	190,683	197,881	196,458	212,048

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	施設の管理運営を指定管理者へ委託する。	指定管理料	209,718千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スポーツ合宿誘致推進事業

スポーツ課参事（合宿誘致・スポーツ交流事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市スポーツ合宿誘致推進事業実施要綱」に基づき、合宿団体への支援等として、輸送バスの提供、道立野幌総合運動公園等の施設使用料の補てん、市内宿泊料の補てんのほか、江別の魅力を伝える特産品の提供を行い、道外からの合宿誘致を進める。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	合宿情報発信回数	回	0	0	1	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

スポーツ合宿の誘致、支援活動を通じ、市民の健康づくり、スポーツへの関心度を高めるとともに、アスリートなどとの交流により、スポーツ技術の向上と市民スポーツ活動の活性化を図る。
また、江別市の紹介や人的交流を通じたシティプロモートも進めていく。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	合宿を行った団体数（道外）	団体	14	1	3	10
成果指標 2	市民との交流事業数	回	14	1	3	10

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	1,929	260	2,482	2,491
正職員人件費 (B)		千円	6,150	6,103	6,082	5,438
総事業費 (A+B)		千円	8,079	6,363	8,564	7,929

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	<ul style="list-style-type: none"> 道外スポーツ団体への送迎バス等による輸送に関する支援 道立野幌総合運動公園等の市内施設利用料の補助 市内宿泊団体への宿泊施設利用料の補助 シティプロモートのための江別の特産品提供 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎バス等賃借料 1,321千円 道立野幌総合運動公園等市内施設利用料補助 364千円 市内宿泊施設利用料補助 546千円 特産品提供経費 260千円 	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：総合型地域スポーツクラブ支援事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

総合型地域スポーツクラブのPRを支援し、市民に情報提供を行う。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	PR支援回数	回	3	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

総合型地域スポーツクラブの活動が活性化することにより、市民のスポーツの機会が充実する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	クラブ数	団体	3	3	2	2
成果指標 2	クラブ会員数	人	651	712	700	700

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	384	381	380	388
総事業費 (A+B)		千円	384	381	380	388

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	市内の総合型地域スポーツクラブを広報等で紹介し、市民に情報提供を行う。	人件費事業のため予算措置なし

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：特別支援学校フットサル大会開催支援事業 スポーツ課参事（合宿誘致・スポーツ交流事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	0	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

最寄駅等から会場まで送迎バスによる輸送を行うなど、障がい者のスポーツ大会の開催を支援する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	大会参加学校数	校	0	0	0	30
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

障がい者のスポーツ競技の大会開催を支えていくことで、障がい者（児）への理解を深め、多様な主体がスポーツに取り組める環境づくりを図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	来場者数	人	0	0	0	550
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	737
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	388
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	1,125

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	最寄駅等から会場までの送迎支援 優勝旗等の贈呈	最寄駅等から会場までのバス運行に係る経費 213千円 優勝旗等贈呈経費 524千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	障がい者のスポーツ大会を支援していくことで、障がい者に対する理解を深め、多様な主体が交流できる「共生のまち」の実現へつなげていく。また、大会が当市で開催されることで、関係人口が増加し、市内への経済効果が見込まれる。

事業名： あけぼのパークゴルフ場改修整備事業 スポーツ課 スポーツ係

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	令和 3年度	終了年度	令和 4年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	119,883	119,777
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

令和3年度 現況測量・実施設計
令和4年度 増設工事

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	事業費	千円	0	0	6,200	80,557
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

あけぼのパークゴルフ場のコースを増設（1コース9ホール）し、市民スポーツの環境向上と健康増進を図る。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	増設されたホール数	ホール	0	0	0	9
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	6,200	80,557
正職員人件費 (B)		千円	0	0	2,281	3,107
総事業費 (A+B)		千円	0	0	8,481	83,664

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	9ホール増設工事の実施	工事費 79,057千円	

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 高校総体北海道大会開催事業

スポーツ課参事（合宿誘致・スポーツ交流事業）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	03 市民スポーツ活動の充実			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1 市民	人	0	0	0	119,777
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

令和5年度のインターハイ北海道大会が江別市のスポーツ振興につながるよう、市内の競技実施に向けた体制整備を進める。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1 大会実施競技数	種目	0	0	0	0
活動指標 2 実行委員会開催数	回	0	0	0	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

高校総体を通じ、市民のスポーツへの関心を高め、市民スポーツの振興を図る。

指標名	単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1 来場者数	人	0	0	0	0
成果指標 2					

事業費の推移	単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	0	2,081
正職員人件費 (B)	千円	0	0	0	9,322
総事業費 (A+B)	千円	0	0	0	11,403

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
4年度	令和5年度インターハイ北海道大会の開催に係る開催市実行委員会への負担金の支出 ・令和5年度インターハイ江別市実行委員会設置 ・令和4年度インターハイ四国大会視察 ・事務局として大会運営に係る調整業務	主な負担金の内容 ・令和5年度インターハイ江別市実行委員会の設置等に係る費用 87千円 ・令和4年度インターハイ四国大会視察旅費 1,031千円 ・事務局運営等費用 963千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	令和5年度インターハイ北海道大会において、当市では「飛込」「競泳」「ホッケー」の3競技の会場市となった。インターハイは、教育活動の一環として高校生に広くスポーツ実践の機会を与え、技能向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年の育成をすることを目的とする。また、当該大会を当市で開催することで、市民のスポーツへの関心を高め、市内のスポーツ振興を図る。

事業名：小中学生国内交流研修事業

生涯学習課 青少年係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

国内交流研修訪問団（小中学生、引率者）

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	16	0	16	16
対象指標 2	土佐市からの研修訪問人数	人	15	0	16	16

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・友好都市土佐市との相互交流
派遣：＜事前研修＞8月下旬～10月上旬／土佐市・江別市の概要学習、交流会プログラム企画等
＜実地交流研修＞10月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学
受入：＜土佐市訪問団受入＞1月中旬／ホームステイ、体験入学、体験学習、施設見学
- ・事業集録作成
- ・交流研修訪問団に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を支出する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,153	0	0	1,095
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

土佐市との教育交流の中から児童生徒の友好都市への認識を深めるとともに、様々な生活文化や風土にふれ、豊かな感性が養われるようになる。また、異なる文化等に触れることで、自分の住む地域を見つめ直し、江別市への理解を深めて郷土愛を育む。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	3,693	0	0	3,096
成果指標 2	訪問した学校の生徒数	人	713	0	0	787

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	1,530	0	1,515	1,515
正職員人件費 (B)		千円	3,459	2,289	2,281	1,942
総事業費 (A+B)		千円	4,989	2,289	3,796	3,457

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	＜派遣＞事前研修、実地交流研修の実施 ＜受入＞体験入学、施設見学 ＜事業集録作成＞	・引率教諭、同行職員旅費	420千円 ・研修訪問団への補助金 1,095千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：中学生国際交流事業

生涯学習課 青少年係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	02 国際交流の推進			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

海外交流研修訪問団（中学生、引率者）

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
対象指標 1	研修訪問団構成員数	人	8	0	8	8
対象指標 2	グレシャムからの訪問人数	人	7	0	7	7

手段（事務事業の内容、やり方）

○姉妹都市グレシャム市との相互交流を行う。
 ・派遣：＜事前研修＞8月下旬～11月下旬／グレシャム市・江別市の概要学習、語学研修、交流会プログラム企画等
 ＜実地研修＞12月上旬／ホームステイ、体験入学、施設見学、体験学習
 ・受入：＜グレシャム市訪問団受入＞2月上旬／ホームステイ、体験入学、施設見学、体験学習
 ・事業報告書作成
 ○研修訪問団に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	1,397	0	0	1,227
活動指標 2	アメリカ文化習得のための学習会開催回数	回	9	0	0	9

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

グレシャム市との相互交流を通じ、自国と相手国の文化や歴史に対する理解を深め、国際社会に通用する豊かな国際感覚が養われるようになる。

指標名		単位	31年度実績	2年度実績	3年度実績見込み	4年度予算
成果指標 1	交流イベント参加者数	人	1,222	0	0	1,151
成果指標 2						

事業費の推移		単位	31年度実績	2年度実績	3年度予算	4年度予算
事業費 (A)		千円	2,204	0	2,028	2,028
正職員人件費 (B)		千円	3,459	2,289	2,281	1,942
総事業費 (A+B)		千円	5,663	2,289	4,309	3,970

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
4年度	＜派遣＞事前研修、実地研修の実施 ＜受入＞体験入学、施設見学 ＜事業収録作成＞	・引率教諭旅費	399千円
		・国際交流員旅費	385千円
		・研修訪問団への補助金	1,227千円

4年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	